

Trumpet

個人基礎練習のポイントとアイデア

吹部

時短 Note.

時間短縮で楽しい吹奏楽部アイデア集

■ マウスピースバズィング

唇の自然な振動が美しい音には不可欠です。バズィング練習でチェックしてみましょう。

- ・無理矢理に音を出すのではなく「息が勝手に唇を振動させ音になる」感覚を大切にしましょう。
- ・ピアノやチューナーなどで、音を聴きながら吹くのも良いアイデアです。

■ ウォームアップ

- ・身体をその日楽器を吹く状態にするために、ウォームアップをすることがおすすめです。
- ・出しやすい音域から低い音でスムーズに音をつなげていきましょう。
- ・基礎練習とは別と考えましょう。

パターン1



パターン2



■ ロングトーン

- ・音の出だしの発音が重要です。しっかり準備しましょう。
- ・息を安定させて、自分のイメージの音に近づけましょう。
- ・音程にも気をつけて練習してみてください。

Bb Major [B dur]のロングトーン



■ タンギング

- ・発音が続いても息を流し続け、ロングトーンの音色が崩れないことを目指しましょう。
- ・どんなテンポ、ダブルタンギングなどになってもロングトーンの響きを保ちましょう。

Bb Major [B dur]のタンギング



■ スケール練習

- ・テンポに合わせて指をテキパキ動かしてください。
- ・様々な調で練習し、吹ける調を増やしましょう。
- ・音域に合わせた息や発音のイメージを持ちましょう。

(例)

高い音ほど息は「速めで、まとめる」
低い音ほど息は「太めで、あたたかい」

● 練習例(JBCバンドスタディより)

Bb Major (B dur)



Eb Major (Es dur)

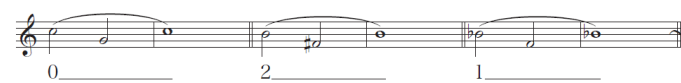


※スラー、テヌート、スタッカートなど様々なアーティキュレーションでも練習してみましょう。

■ リップスラー

- ・金管楽器にとって柔軟性や音色が良くなる効果もあり、重要な練習です。
- ・上手くできない場合は、歌ったり、マウスピースバズィングで音をつなげて吹く練習をするのも効果的です。

● 練習例 (JBCバンドスタディより)



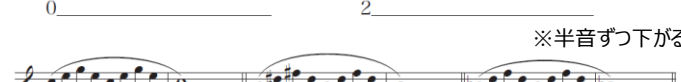
※半音ずつ下がる



※半音ずつ下がる



※半音ずつ下がる



※半音ずつ下がる